

# 本院で中毒スクリーニング検査が実施されたことのある

## 患者さん・ご家族の皆様へ

～2024年9月から2025年12月までに中毒スクリーニング検査のために提出された  
検体および診療情報の医学研究への使用のお願い～

※ 中毒スクリーニング検査とは、尿や血液を使って中毒の原因となる物質の候補を絞る検査のこと

### 【研究課題名】

中毒診療への応用を目的とした薬毒物定性分析法の開発と既存検体を用いた  
検証

### 【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

2024年9月～2025年12月に当院で中毒スクリーニング検査が実施された患  
者さん

### 【研究の目的・方法について】

急性中毒診療においては、原因となる薬毒物の迅速かつ正確な同定（対象の物  
質を特定すること）が、診断および治療方針の決定に重要です。しかしながら、  
従来の分析法では検出感度や特異性の面で課題があり、原因物質の特定が困難  
な場合があります。近年では、液体クロマトグラフィー-タンデム質量分析（LC<sup>エルシー</sup>  
<sup>マス/マス</sup>-MS/MS、液体に含まれる物質を分離し、その質量を測定することで検出しづら  
い物質でも広く測定できる方法）を用いた高感度な分析法が開発されており、よ  
り精度の高い薬毒物の検出が可能となっています。しかし、従来の方法では検出  
したい物質を見逃すことや、似た特徴の別の物質と間違えることがあり、課題が  
残されていました。

このような背景のもと、上記の課題を克服できるような新たな検査方法を構  
築しました。本研究では、当院において中毒が疑われ、中毒スクリーニング検査  
のために提出された検体を対象として、新たに構築した薬毒物の定性分析法の  
有用性を検証することを目的としています。具体的には、診療目的で採取され、  
冷凍保存されている血液、尿および胃内容物検体を用いて分析を行い、既知の原  
因候補物質との一致状況等を評価します。

研究期間：2026年6月10日～2026年12月31日

### 【使用させていただく試料・情報について】

本院におきまして、中毒スクリーニング検査のために提出された患者さんの検体（血液、尿、胃内容物）および診療情報（年齢、性別、原因候補物質、搬送時の臨床情報等）を医学研究に使用させていただきます。なお、本研究は診療の過程で得られた既存の試料および情報を用いて実施するものであり、新たに検体採取や検査をお願いすることはありません。また、本研究は大分大学医学部倫理委員会において、外部委員を含めた審査のうえ承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。使用する試料および情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、特定の個人を識別できないよう加工したうえで厳重に管理しますので、患者さんのプライバシーは適切に保護されます。また、個人情報保護法等の関連法令を遵守して研究を実施します。

### 【使用させていただく試料・情報の保存等について】

本研究で使用する試料は、 $-40^{\circ}\text{C}$ で冷凍保存し、論文発表後5年間の保存を基本としております。保存期間終了後は、適切に焼却処分いたします。また、本研究で収集した情報は論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除し、紙資料はシュレッダーにて廃棄します。

### 【外部への試料・情報の提供について】

本研究で収集した情報を他の機関へ提供することはありません。

### 【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

### 【研究資金】

本研究においては、公的な資金である大分大学医学部附属病院薬剤部基盤研究費もしくは寄附金を用いて研究が行われるため、患者さんの費用負担はありません。

### 【利益相反<sup>りえきそうはん</sup>について】

この研究は、上記の資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の間接的な関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研

究に影響すること)」は発生しません。

#### 【研究の参加等について】

本研究へ試料（尿、血液、胃内容物）および診療情報を提供するかしらないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に試料・診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの試料・診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学术论文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの試料・診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

#### 【研究組織】

所属・職名		氏名
研究責任者		
大分大学医学部附属病院薬剤部	准教授・副薬剤部長	田中 遼大
研究分担者		
大分大学医学部附属病院薬剤部	薬剤主任	炭本 隆宏
大分大学医学部附属病院薬剤部	助教	田代 渉
大分大学医学部附属病院薬剤部	副薬剤部長	龍田 涼佑
大分大学医学部附属病院薬剤部	准教授・副薬剤部長	吉川 直樹
大分大学医学部附属病院薬剤部	教授・薬剤部長	伊東 弘樹

#### 【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-6113

研究責任者：大分大学医学部附属病院薬剤部 准教授・副薬剤部長

田中遼大（たなか りょうた）